

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

◆本校は、全校35名の小規模校であり、一人ひとりの基礎・基本の力を伸ばすことが、全体的な底上げにつながると考えている。

○漢字ドリル・計算ドリル

・国語では、漢字の読み書きのミニテストやまとめのテストで定着状況を確認してきた。間違ったところは付箋をつけて、できるようになるまで、繰り返し取り組ませた。

・算数の計算ドリルは、ドリルノートにさせ、間違えた問題に付箋をつけ、確実にやり直しをさせるようにしている。



漢字ノートは付箋をつけて間違えたところをやり直ししている。

取組の具体②

○テストファイル

「単元テスト(国語・算数)7割未満の児童を5%以下にする」という達成指標の元、ひとり一人の単元テストの達成状況を把握し、個に応じた指導を理解するまで徹底して行うようにしている。国語と算数について、単元テストをファイルに綴じ、確実にやり直しをさせるようにしている。また、月末には、ファイルを持ち帰らせ、保護者と子どもの学習状況について共有するようにしている。



国語・算数ファイル

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体③

○テストパークの利用

国語、算数、理科、社会の4教科について、単元の学習が終わった後、プレテストとしてミライシードのテストパークを利用し、復習させるようにしている。間違えたところや苦手なところについては、ドリルパークを家庭学習として利用し、学習内容の定着を図るようにしている。

取組の具体④

○放課後学習コーナー

職員室前に「放課後の学習コーナー」を設け、子どもたちが自主的に学習できるようにしている。学習の困りがある児童がいるときには、職員室にいる全ての教職員が対応するようにしている。全ての児童を全ての教職員で育てていくことを大切にしている。



放課後学習コーナーの様子